

# 2023年3月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社オーブドア  
(証券コード：3926)

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

## ■ 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響

- 3月は新型コロナ新規感染者数が減少に転じ、旅行需要の増加及び控えられていた団体旅行の集中があり国内旅行需要は一旦顕著に回復、その後4月から6月にかけても新規感染者数の減少が続きそれと比例して旅行需要は回復傾向を継続
  - 7月以降は新たな変異株による感染急拡大とそれに伴う全国旅行支援（地域割の拡大）の延期があり旅行需要は再び減退傾向にあるものの、ワクチン接種の拡大や行動制限が行われていない状況などもあり前年に比べれば落ち込みは緩やか
- \* 5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響」参照

## ■ 1Q実績

- 売上高 **441百万円**（前期1Q比 **+89.5%**、2020年3月期1Q比 **▲66.0%**）
- 営業利益 **▲49百万円**（前期1Q実績 **▲235百万円**、2020年3月期1Q実績 **558百万円**）
- 引き続き新型コロナの影響は受けているものの、新規感染者数の減少に伴い旅行需要も回復傾向にあったことから、売上高は前年同期を大きく上回り着地、営業損失も大きく減少

## ■ 2023年3月期 業績予想

- 新型コロナによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2023年3月期の業績予想については現時点で『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表
  - 新型コロナ新規感染者数は再び増加しているが重症化率は顕著な低下がみられることなどから日本を含め海外でも行動制限は行わない方向に動いており年単位で見れば旅行需要は回復傾向にある
  - 国内旅行需要については感染者数の減少に比例して顕著な回復が見込まれ、海外旅行については円安や燃油高など新型コロナ以外のマイナス要因もあり、需要の回復は国内旅行に比べ遅れることが予想される
  - 強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越してさらに開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る
- ※ 2023年3月期1Q：自己資本比率 93.1%、現預金残高 約29億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

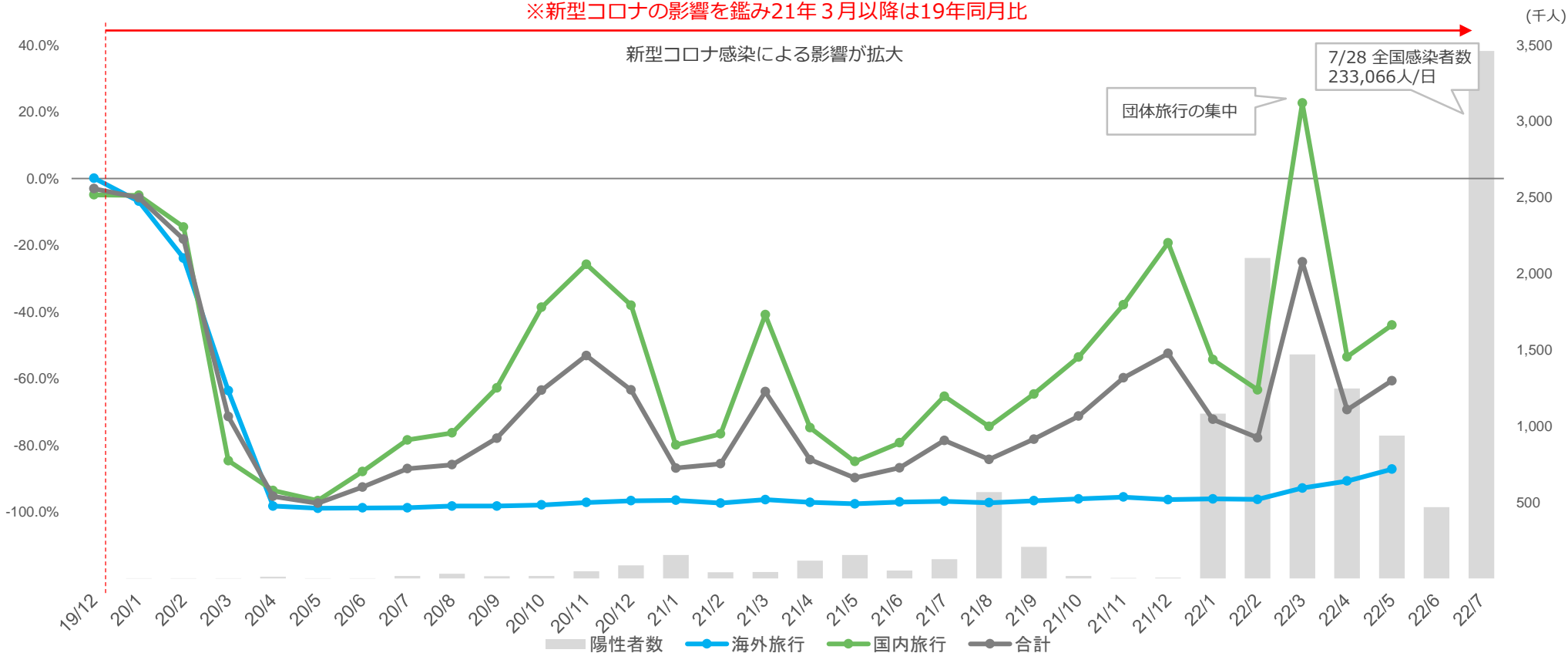
# 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響

- 3月は新型コロナ新規感染者数が減少に転じ、旅行需要の増加及び控えられていた団体旅行の集中があり国内旅行需要は一旦顕著に回復、その後4月から6月にかけても新規感染者数の減少が続きそれと比例して旅行需要は回復傾向を継続
- 7月以降は新たな変異株による感染急拡大とそれに伴う全国旅行支援（地域割の拡大）の延期があり旅行需要は再び減退傾向にあるものの、ワクチン接種の拡大や行動制限が行われていない状況などもあり前年に比べれば落ち込みは緩やか

※ グラフの「合計」は当社にて主要旅行業者の海外旅行と国内旅行の総取扱額を合算し算出

## 主要旅行業者 総取扱額の前年同月比推移 と 月別新規陽性者数推移

※新型コロナの影響を鑑み21年3月以降は19年同月比



出典：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 オープンデータ 新規陽性者数の推移(日別)をもとに当社作成

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
- 3. 第1四半期 業績概要**
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

# 2023年3月期 第1四半期 業績概要 / 損益計算書



- 引き続き新型コロナの影響は受けているものの、新規感染者数の減少に伴い旅行需要も回復傾向にあったことから、売上高は前年同期を大きく上回り着地、営業損失も大きく減少

単位：百万円

	2022/3	2023/3	増減額	2022/3	2022/3	2020/3	2020/3	
	1Q実績	1Q実績		1Q比				4Q実績
売上高	232	441	+208	+89.5%	315	+40.0%	1,296	-66.0%
売上原価	163	166	+2	+1.8%	165	+0.1%	165	+0.5%
売上総利益	69	275	+205	+294.4%	149	+84.3%	1,131	-75.7%
販売費及び一般管理費	305	324	+19	+6.3%	296	+9.3%	572	-43.4%
営業利益	-235	-49	+186	-	-147	-	558	-
経常利益	-196	-34	+162	-	-128	-	559	-
当期純利益	-197	-35	+162	-	-129	-	348	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	43.1%	-

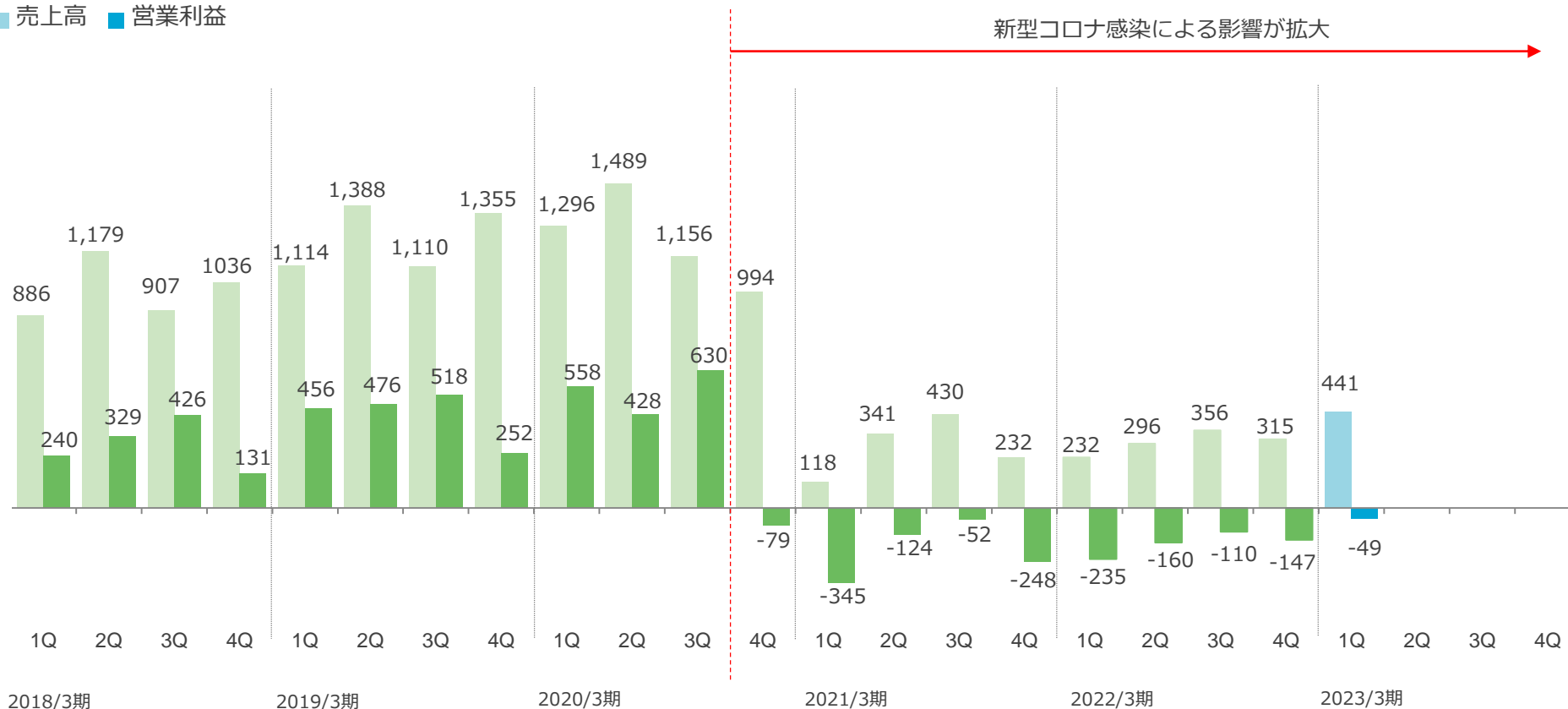


# 2023年3月期 第1四半期 業績概要 / 四半期業績推移

- 売上トレンドはコロナ前と異なり新型コロナの影響を大きく受けて推移

単位：百万円

■ 売上高 ■ 営業利益



1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

1Qは25件の開発案件をリリース、更に50件以上の開発案件が進行中

・最近のリリース一例

## 国内航空券 CO2削減表示対応

・CO2排出量の少ないフライトを「CO2↓」で表示



## 国内ホテル 空室カレンダー表示

・プランごとの空室カレンダーを表示



## 国内ツアー 旅行会社向け マーケティングサポートツールβ版提供

・トラベルコにおける需要動向を様々な角度から分析できる  
マーケティングツールの提供



※画像はイメージです

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

## ■ 2023年3月期 業績予想

新型コロナウイルスによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2023年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況である

そのため、2023年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表

## ■ 新型コロナウイルスによる今後の影響と当社方針

新型コロナ新規感染者数は再び増加しているが、重症化率は顕著な低下がみられることなどから日本を含め海外でも行動制限は行わない方向に動いており年単位で見れば旅行需要は回復傾向にある

国内旅行需要については感染者数の減少に比例して顕著な回復が見込まれ、海外旅行については円安や燃油高など新型コロナ以外のマイナス要因もあり、需要の回復は国内旅行に比べ遅れることが予想される

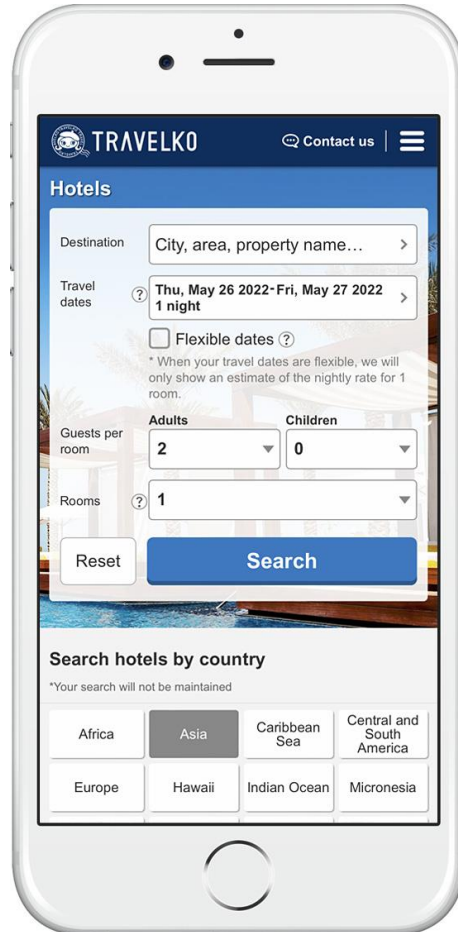
強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越してさらに開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2023年3月期1Q：自己資本比率 93.1%、現預金残高 約29億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料



- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携の強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大  
(民泊・旅行保険・アウトドアなど)
- 旅行会社向けマーケティングサポートツールの提供
- サイトデザインリニューアル



- 渡航関連情報の強化
- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース  
ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOオープン
- 観光情報の拡充
- プロモーションの検討



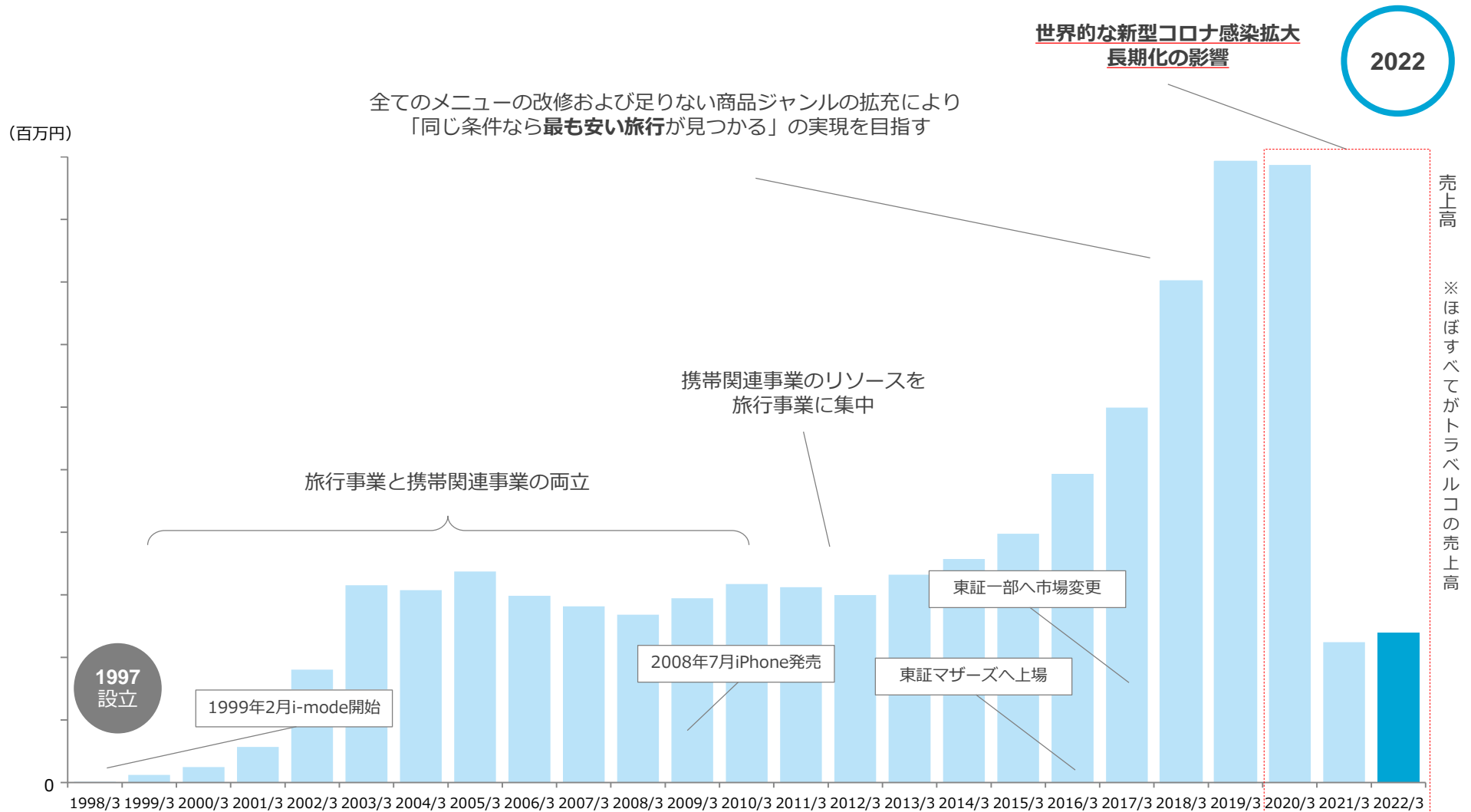
1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による  
旅行市場への影響
3. 第1四半期 業績概要
4. 2023年3月期 1Qの取り組み
5. 2023年3月期 業績予想
6. 今後の主な取り組み予定
7. 参考資料

# 2023年3月期 第1四半期 / 貸借対照表

- 自己資本比率93.1%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,975百万円

単位：百万円	2022/3末 実績	2022/6末 実績	増減額
流動資産	3,274	3,285	+11
現金及び預金	3,018	2,975	-43
その他	255	310	+54
固定資産	2,094	2,262	+167
資産合計	5,368	5,547	+179
流動負債	171	210	+39
固定負債	109	163	+53
負債合計	280	373	+92
純資産合計	5,087	5,174	+86
資本金	648	648	-
資本剰余金	473	473	-
利益剰余金	3,821	3,785	-35
その他	144	266	+122
負債純資産合計	5,368	5,547	+179

会社名	株式会社オーブンドア
設立	1997年4月
代表者	代表取締役社長 関根 大介
資本金	648百万円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3926）
事業内容	旅行比較サイト「トラベルコ」 多言語旅行比較サイト「Travelko」 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営
連結子会社	ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売
従業員数	連結188名



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト

理想の旅をいざばん安く。 **トラベルコ** TRAVELKO

運営会社：株式会社オープンドア(東証プライム) 不具合・要望 予約サイトでのトラブル

初めての方へ よくある質問 メールマガ

国内 海外

ホテル 航空券 ツアー その他 旅行ガイド他 履歴 お気に入り (0)

JTB、HIS、一休.com、楽天トラベル、Expedia、Booking.comなど、国内外1,500以上の旅行サイトを比較！

国内旅行		海外旅行	
国内ホテル	国内格安航空券	コロナによる入国制限	海外オンライン体験ツアー
国内ツアー	国内航空券+ホテル	海外ホテル	海外格安航空券
新幹線・JR特急+ホテル	国内レンタカー	海外ツアー	海外航空券+ホテル
夜行バス・高速バス	遊び・体験	オプションツアー	海外Wi-Fiレンタル
日帰りバスツアー	ファイナルコール	ファイナルコール	

LINEスタンプ 販売中！  
全40種類！ご購入はこちらから

いろいろなトラベルコちゃんが登場！

トラベルコの旅行比較をアプリでも

理想の旅をいざばん安く。 **トラベルコ** TRAVELKO

不具合・要望 予約サイトでのトラブル

国内旅行 海外旅行

ホテル 格安航空券

ツアー 航空券+ホテル

新幹線・特急+ホテル レンタカー

夜行バス 高速バス

日帰りバスツアー

海外旅行

コロナによる入国制限

海外オンライン体験ツアー

ホテル 格安航空券

ツアー 航空券+ホテル

オプションツアー

海外Wi-Fiレンタル

ファイナルコール

ファイナルコール

トラベルコまとめ

トラベルコ 旅行比較アプリ 無料インストール

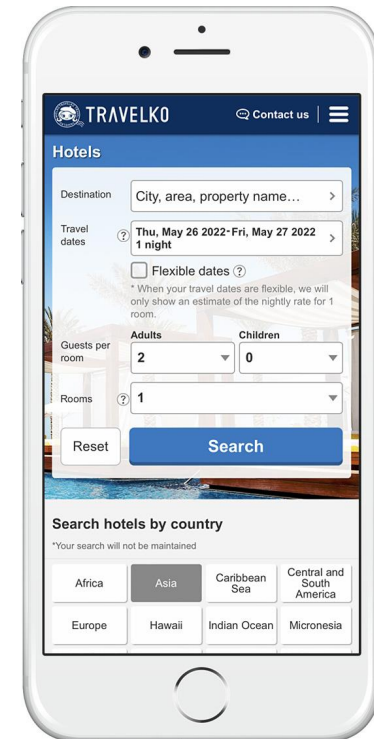
LINEスタンプ はじめました！

海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ

The desktop interface features a search form with the following fields and options:

- Language and Currency:** English, USD, Recent searches.
- Destination:** City, area, hotel name...
- Check in/Check out:** Thu, Sep. 03 2020 to Fri, Sep. 04 2020 (1 night).
- Flexible dates:** A checkbox option with a note: "When your travel dates are flexible, we only show an estimate of the lowest nightly rate per room."
- Rooms and Guests:** 1 room, 2 Adults, 0 Children.
- Hotel name:** A text input field.
- Search Button:** A prominent blue button.

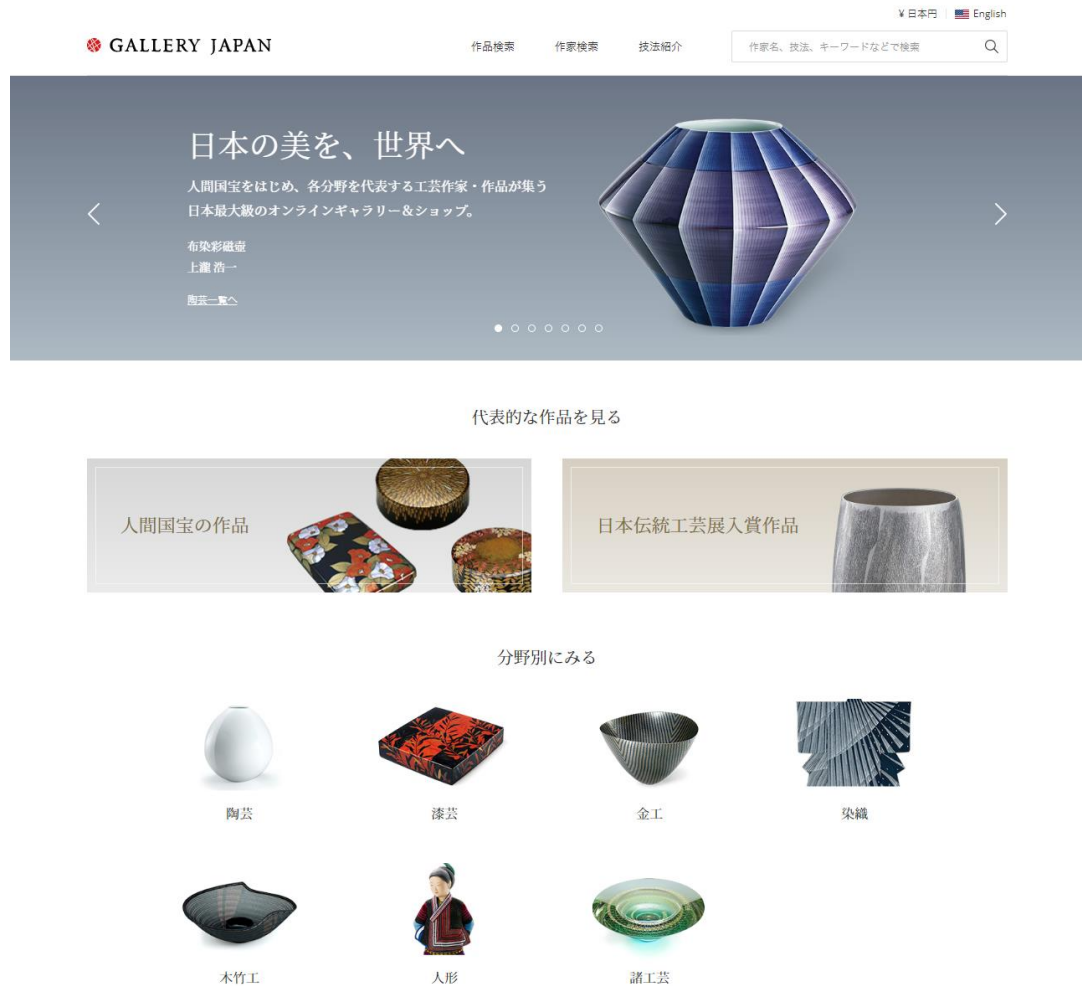
Below the search form, there is a section for "Travel providers" listing logos for Expedia, Booking.com, agoda, Trip.com, Rakuten Travel, and YOKOSO Japan. At the bottom, a "Search hotels by country" section displays a grid of country flags and names, including Algeria, Angola, Benin, Botswana, Burkina Faso, Burundi, Cameroon, Cape Verde, Chad, Congo, Congo Democratic Republic, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Ethiopia, Gabon, Gambia, Ghana, Guinea, Guinea-bissau, Kenya, Kingdom of eSwatini (Swaziland), Lesotho, and Liberia.



対応言語

英語  
 中国簡体字  
 繁体字 (台湾)  
 繁体字 (香港)  
 韓国語

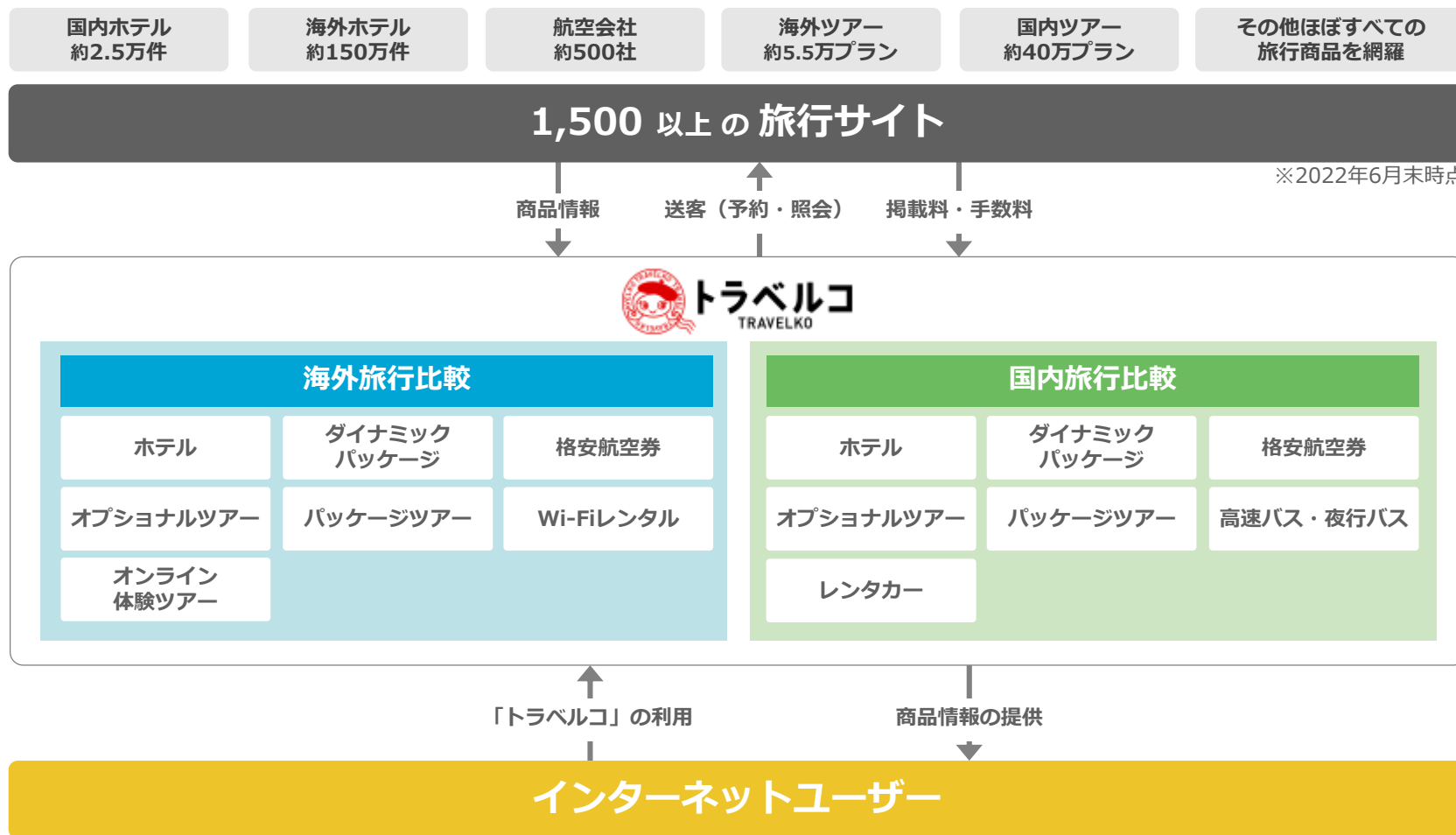
海外及びインバウンド市場をターゲットとした“伝統工芸作品”を世界へ紹介するサイト



対応言語

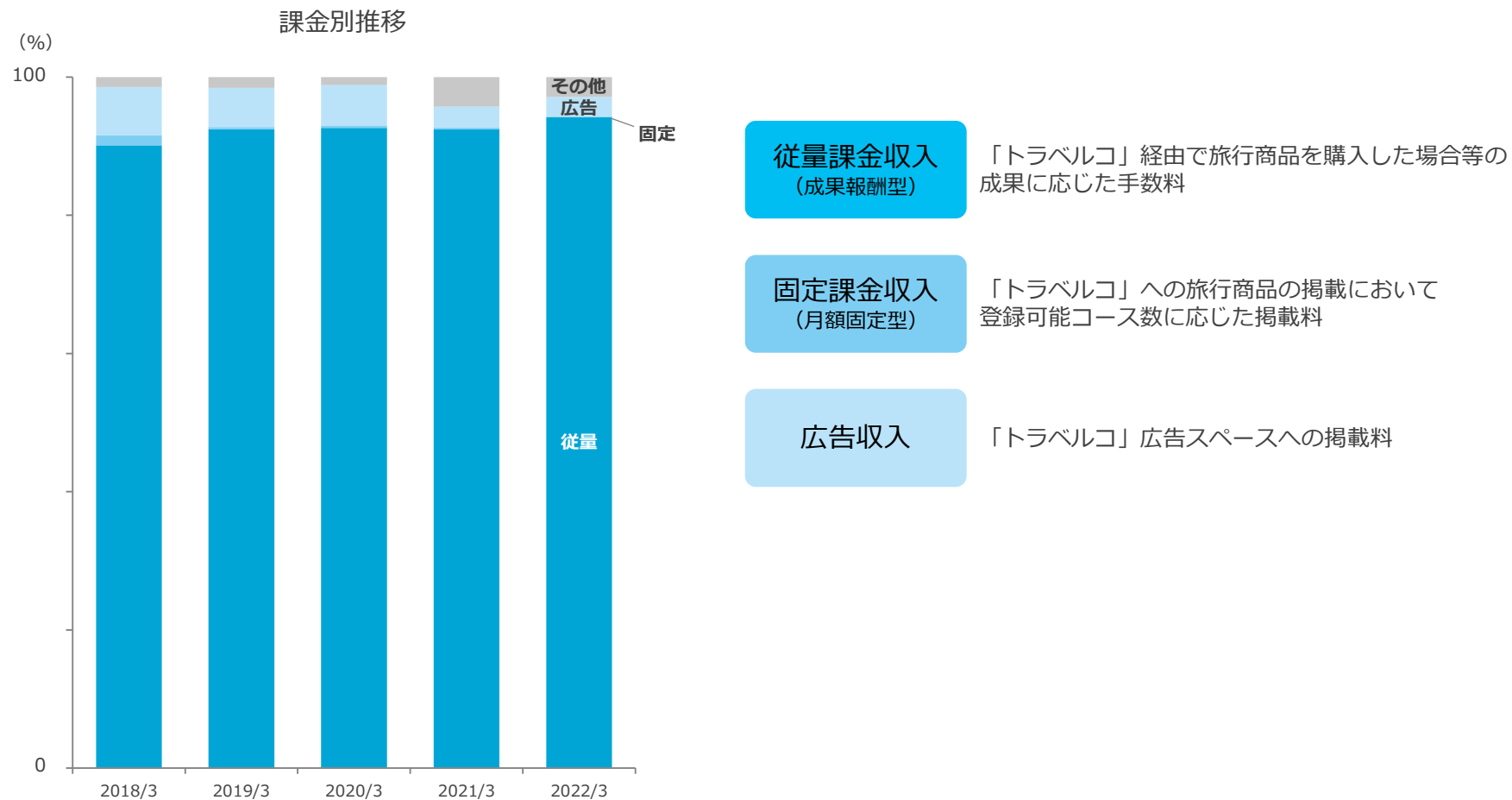
英語  
日本語

ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル

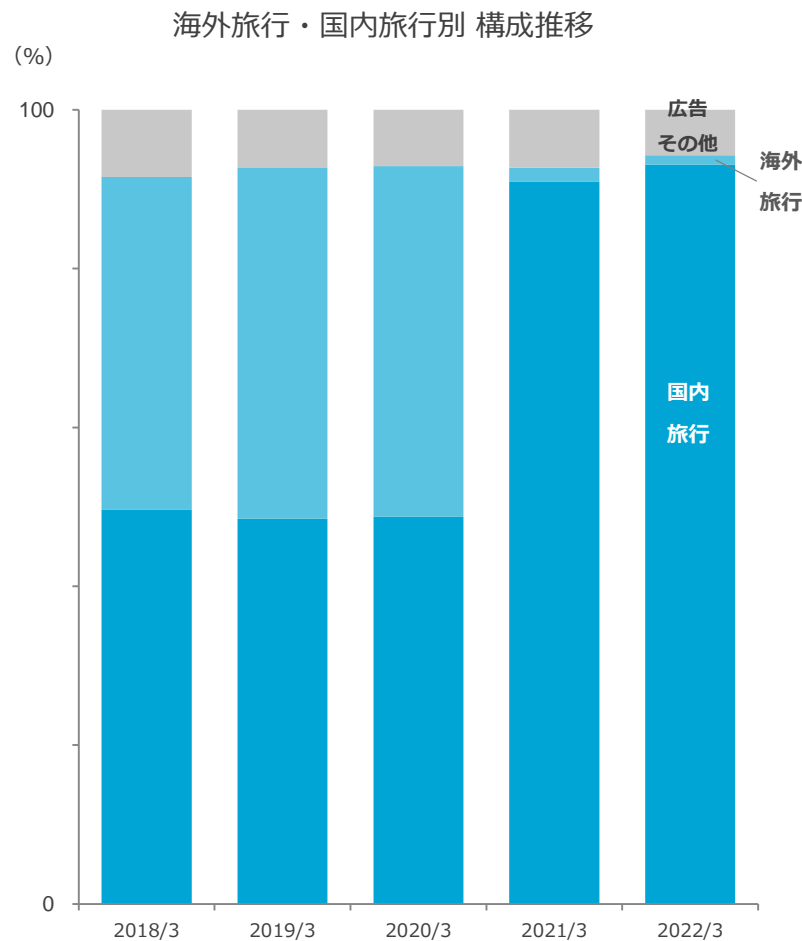




収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



新型コロナの影響で22/3期も国内旅行がほとんどを占める

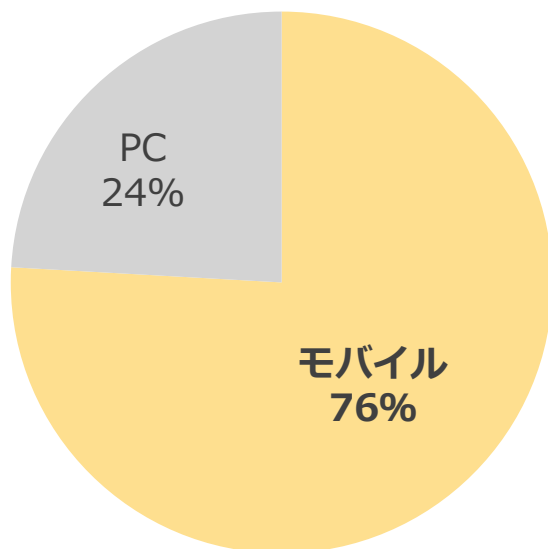


世界的な新型コロナ感染拡大の影響により  
海外渡航制限が続いたことで  
売上高構成割合が大きく変動

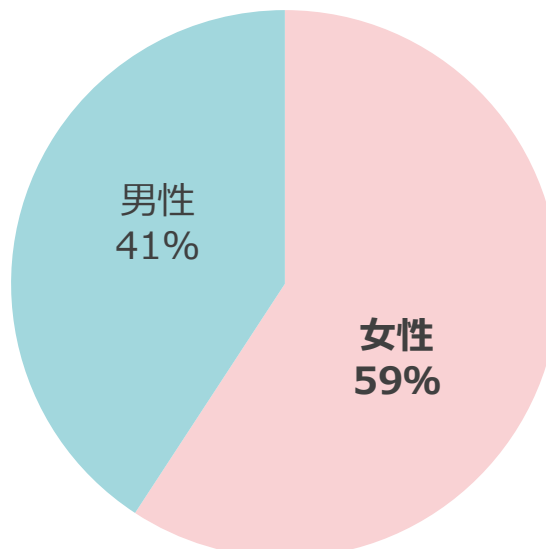
新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため20年3月期データを使用

## ユーザー属性※1

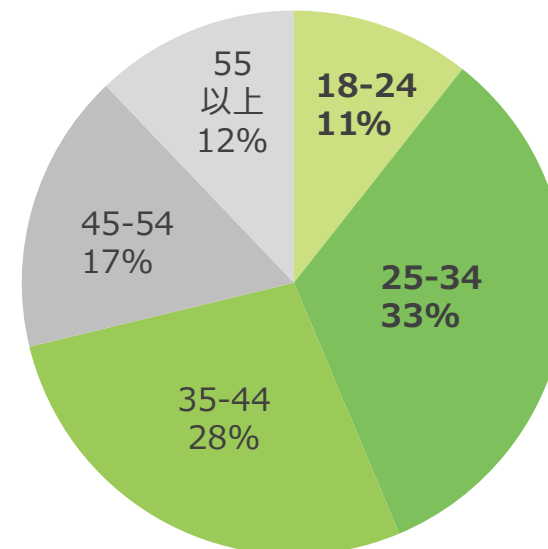
閲覧環境



性別



年齢別



※1 2019/4 - 2020/3までの当社アクセス解析データ

多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか？

## 1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプションツアー、レンタカー、夜行バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル
オンライン体験ツアー		

国内旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	高速バス・夜行バス
レンタカー		

## 2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合があります。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急トラベル  
JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行  
HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X  
西鉄旅行 名鉄観光サービス 旅工房 ベルトラ  
  
楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル  
  
Expedia Booking.com agoda Trip.com  
  
エアトリ Spring Japan スカイチケット  
スターフライヤー AIRDO

…**1,500**以上の旅行サイト

なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか？

## ほぼ全てのシステム開発を内製化

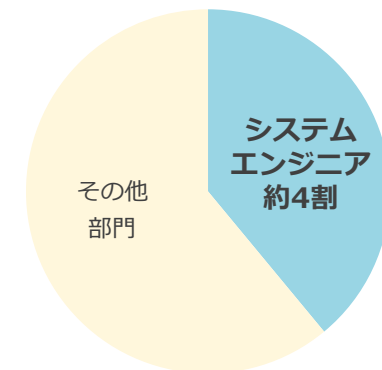
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。

全従業員に占める  
システムエンジニアの割合



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

## 株式会社オーブドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、  
下記までお願いいたします。

株式会社オーブドア 管理本部

TEL : 03-5545-7215      FAX : 03-3586-8708

ホームページ : <https://www.opendoor.co.jp>